

2026年3月期中間期 決算説明資料

2025年11月6日
イー・ギャランティ株式会社
(東証プライム 8771)

当資料取扱上のご注意

本資料は、経営戦略等に関する情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的とするものではありません。

本資料には、当社に関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づき、本資料の作成時点における予測等を基礎としてなされたものです。また、これらの記述は、一定の前提(仮定)の下になされています。

これらの記述または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、または将来実現しないという可能性があります。

また、本資料に記載されている当社以外の情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておりません、また、これを保証するものではありません。

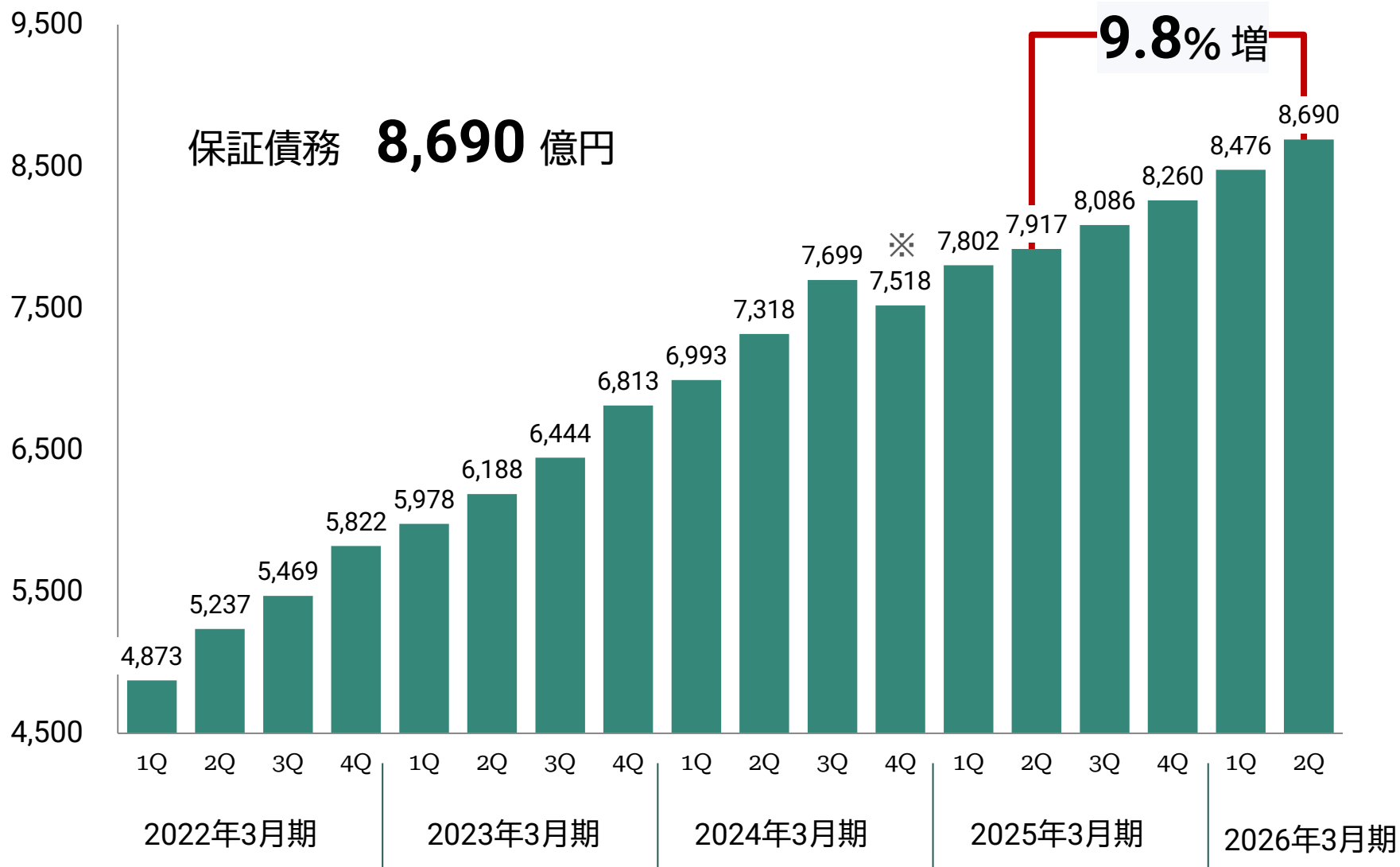
2026年3月期第2四半期
エグゼクティブサマリー

業績				2Qのハイライト	
	前年同期比 (24年9月末)	実績 (25年9月末)	増減率		
保証債務 (億円)	7,917	8,690	+9.8%	人財面	・職場定着率向上の取り組みが実施され、従業員数の安定的な増加を図っています。
売上高 (百万円)	4,878	5,488	+12.5%	営業面	・新システムを導入し営業業務の効率化及び、マーケティングのデータベース化に取り組んでいます。
経常利益 (百万円)	2,438	2,568	+5.3%	株主還元	・自己株式取得を開始し、株主還元を強化しています。 ・累進配当政策を維持しています。
ROE* (%)	15.3	15.9	+0.6pt	その他	・提携先の多様化を促進し、保険代理店、M&A仲介会社と提携。

*ROEは次の計算式にて算出しています。
2025年9月末時点親会社に帰属する四半期純利益×2/【{2024年9月末時点株主資本（自己資本）+2025年9月末時点株主資本（自己資本）}/2】

保証債務推移

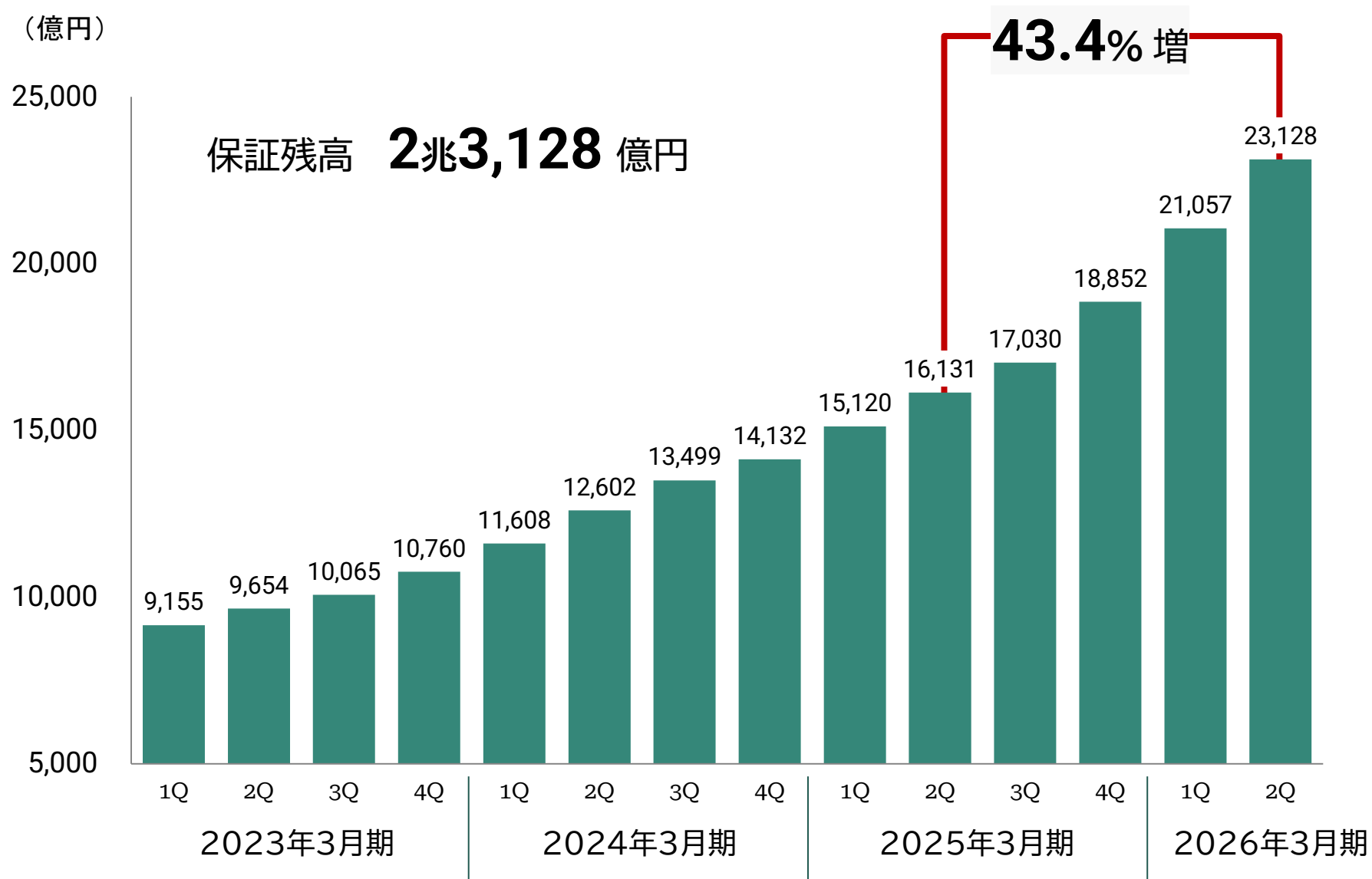
(億円)



※2024年3月期4Qについてはリスクポートフォリオを見直し、収益性の低い契約を見直したことにより、保証債務は減少しています。

・保証債務は、契約のうち債権残高を把握している契約については保証対象先ごとの債権残高、把握していない契約については保証対象先ごとの保証枠を合計した金額。

保証残高推移



・ 保証残高は、保証対象先ごとに設定している保証枠の合計金額。

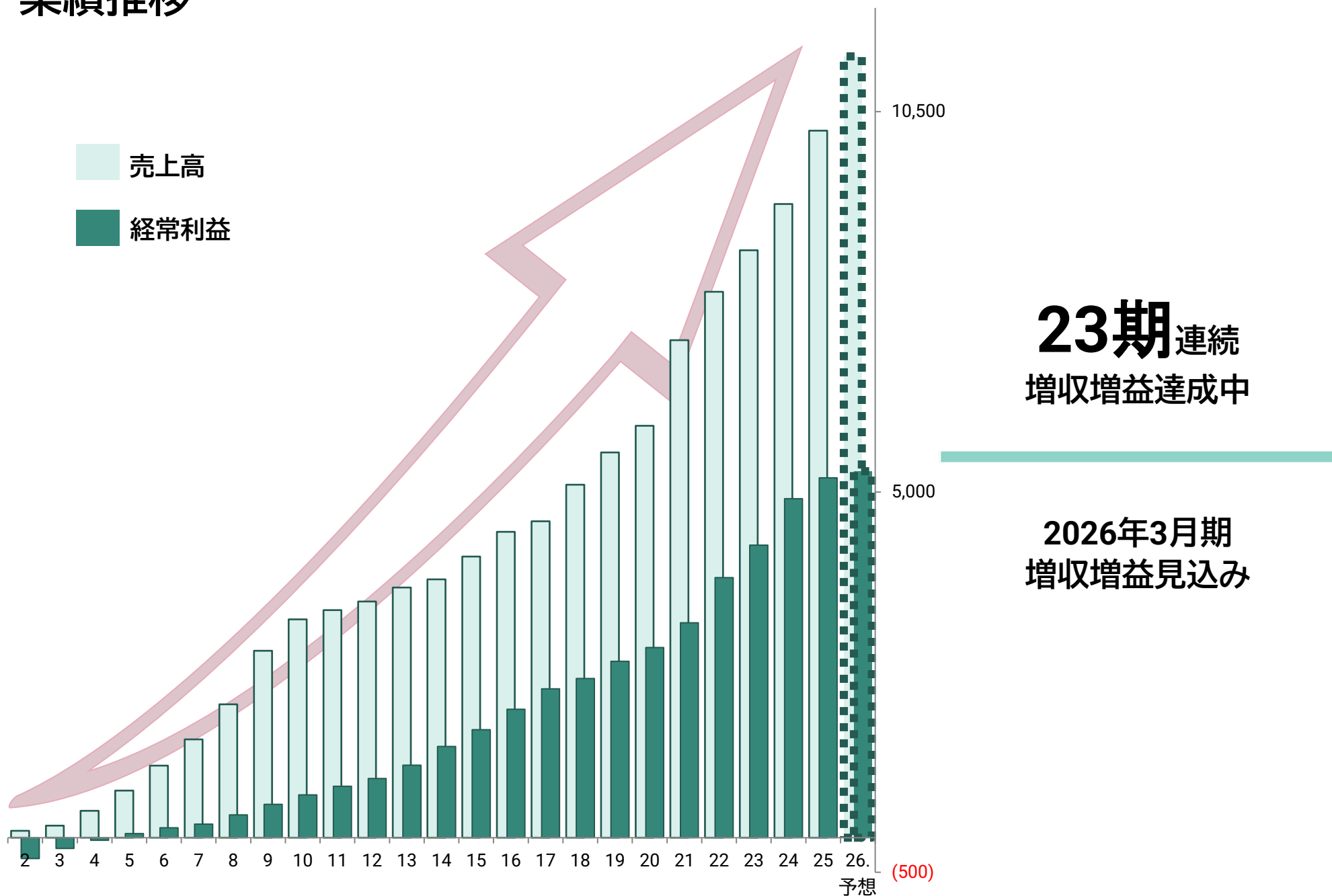
2026年3月期2Q業績状況

(百万円)	① 2024年 9月末	② 2025年 9月末	①→② 増減率	①→② 増減	コメント
売上高	4,878	5,488	12.5%	+610	・新規契約の増加を背景に 売上が拡大し、前年同期比 12.5%の増加となった。
売上総利益	3,761	3,979	5.8%	+ 218	・倒産件数増加を背景とし た保証履行増加等の影響で 原価率は悪化した。
営業利益	2,380	2,512	5.6%	+132	・売上総利益率の悪化と人 件費の増加により伸び率が 低下している。
経常利益	2,438	2,568	5.3%	+130	—
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,636	1,740	6.4%	+104	・倒産件数の増加に伴い、 ファンドの保証履行も増加 し、非支配株主に帰属する 利益が減少した。

2026年3月期2Q 期初予想達成状況

(百万円)	2Q累計 期初予想	2Q累計 実績	達成状況 (達成率)
売上高	5,400	5,488	達成 (101.6%)
営業利益	2,500	2,512	達成 (100.5%)
経常利益	2,550	2,568	達成 (100.7%)
親会社に帰属する 当期純利益	1,650	1,740	達成 (105.5%)

業績推移



連結貸借対照表

流動資産: 自社株取得の影響で、現金及び預金が3,537百万円減少したことなどにより、前期末比15.9%減少。
流動負債: 前受金が218百万円減少したことなどにより、前期末比4.7%減少。
純資産: 自己株式が2,669百万円増加したことなどにより、前期末比10.3%減少。

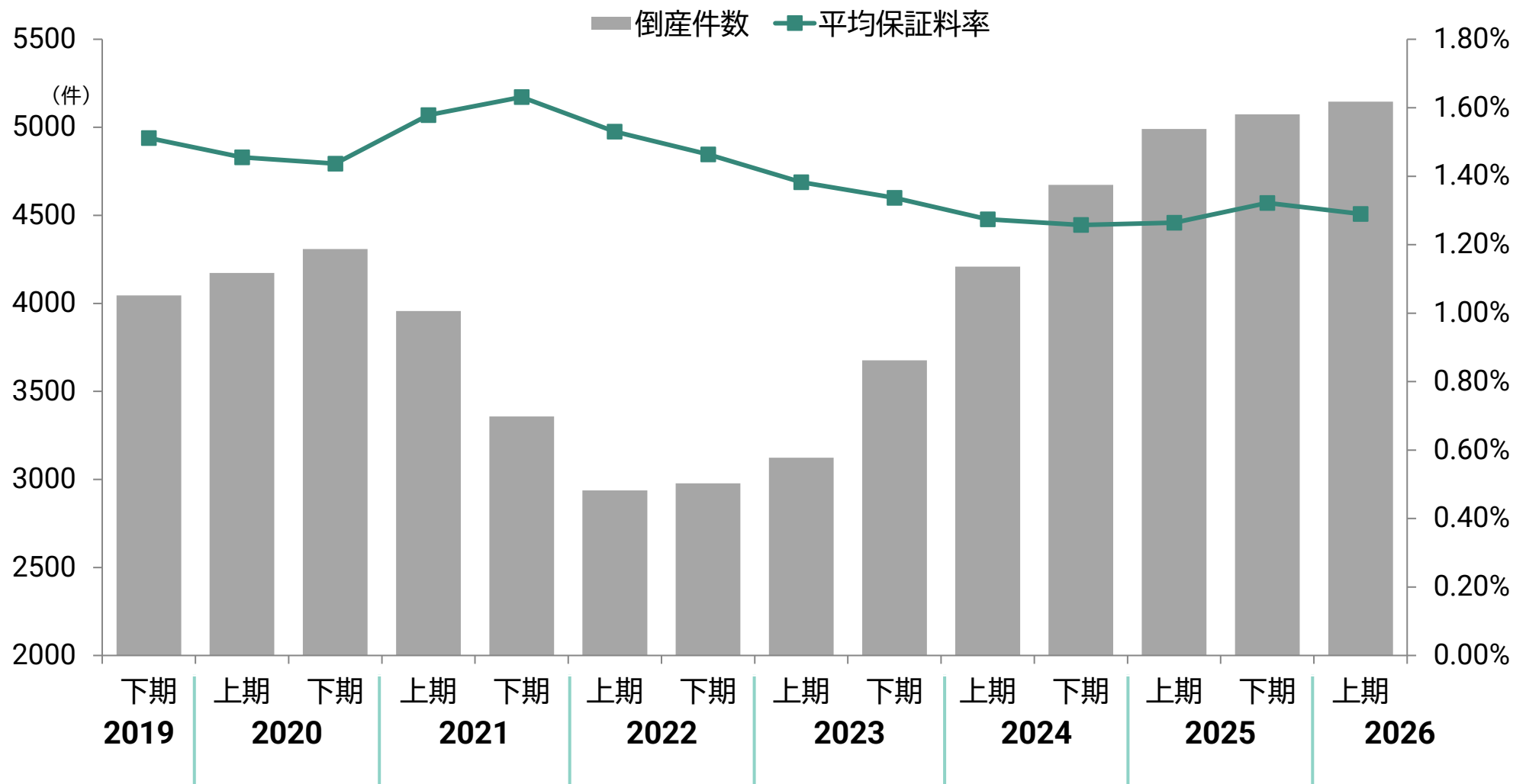
(百万円)

資産の部	① 25年3月期末	② 25年9月末	①→② 増減率
流動資産	18,907	15,893	-15.9%
現預金	16,315	12,778	-21.7%
前払費用	1,569	1,623	+3.4%
有価証券	300	300	+0.0%
その他	722	1,192	+65.2%
固定資産	14,107	14,106	-0.0%
有形固定資産	1,976	1,990	+0.7%
無形固定資産	117	138	+18.1%
投資有価証券	11,288	11,293	+0.0%
その他	724	684	-5.5%
資産合計	33,014	30,000	-9.1%

負債の部	① 25年3月期末	② 25年9月末	①→② 増減率
流動負債	6,507	6,202	-4.7%
保証履行引当金	413	494	+19.7%
前受金	4,748	4,529	-4.6%
未払法人税	1,018	840	-17.5%
その他	327	337	+3.0%
固定負債	115	115	+0.0%
長期未払金	115	115	+0.0%
負債合計	6,622	6,317	-4.7%
純資産の部	① 25年3月期末	② 25年9月末	①→② 増減率
株主資本	24,206	21,504	-11.2%
資本金	3,975	3,975	+0.0%
資本剰余金	3,385	3,385	+0.0%
利益剰余金	16,846	16,814	-0.2%
自己株式	-1	-2,670	-
新株予約権	157	157	+0.0%
非支配株主持分	2,027	2,020	-0.3%
純資産合計	26,391	23,682	-10.3%
負債純資産合計	33,014	30,000	-9.1%

平均保証料率と倒産件数 推移

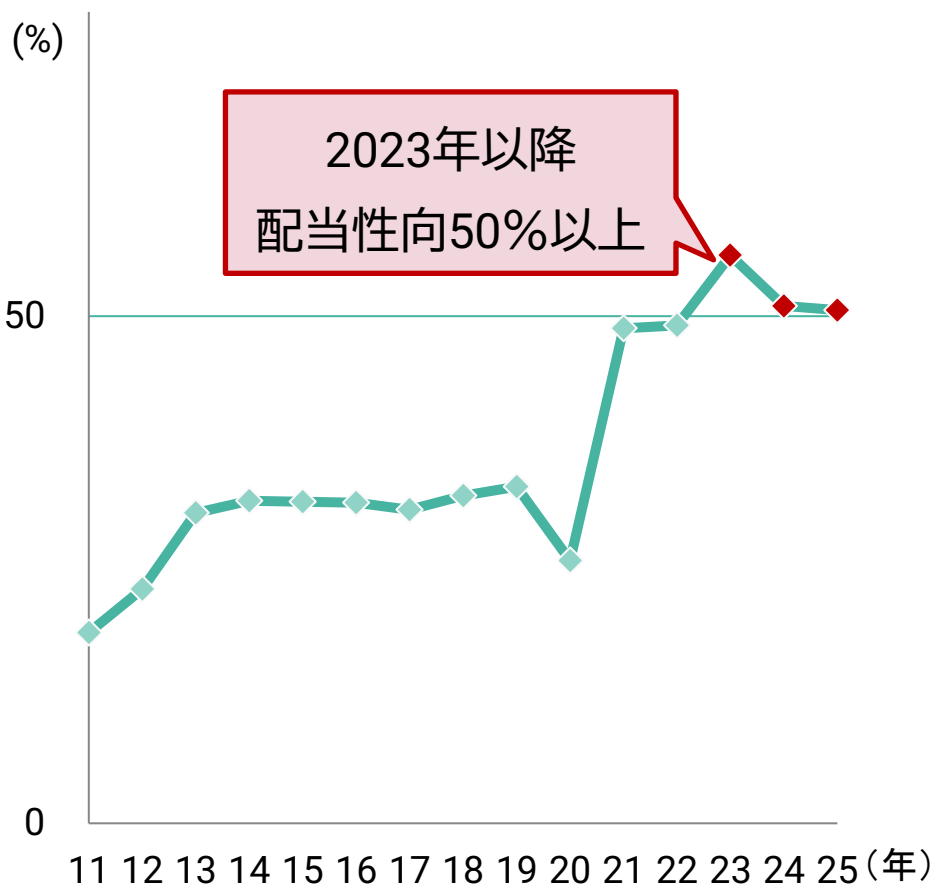
・直近期には倒産件数が急増しているものの、当社では昨年度の下期より、保証料率の高い高リスク引受に慎重な姿勢を維持しております。



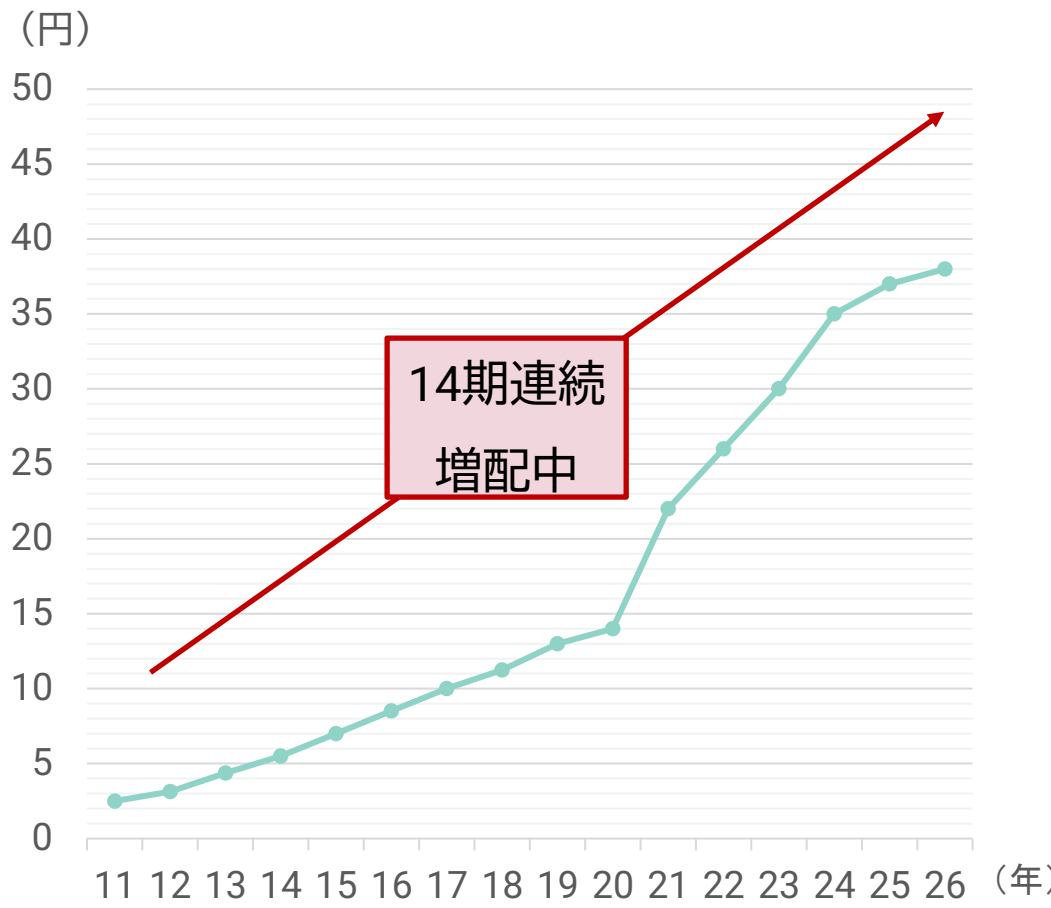
株主還元施策の実施状況(2025年9月時点)1/2

- ・累進配当政策を取り入れています。
- ・2025年3月期DOE7.6%。過去3年連続7%以上達成。

配当性向の推移



1株当たり配当金推移

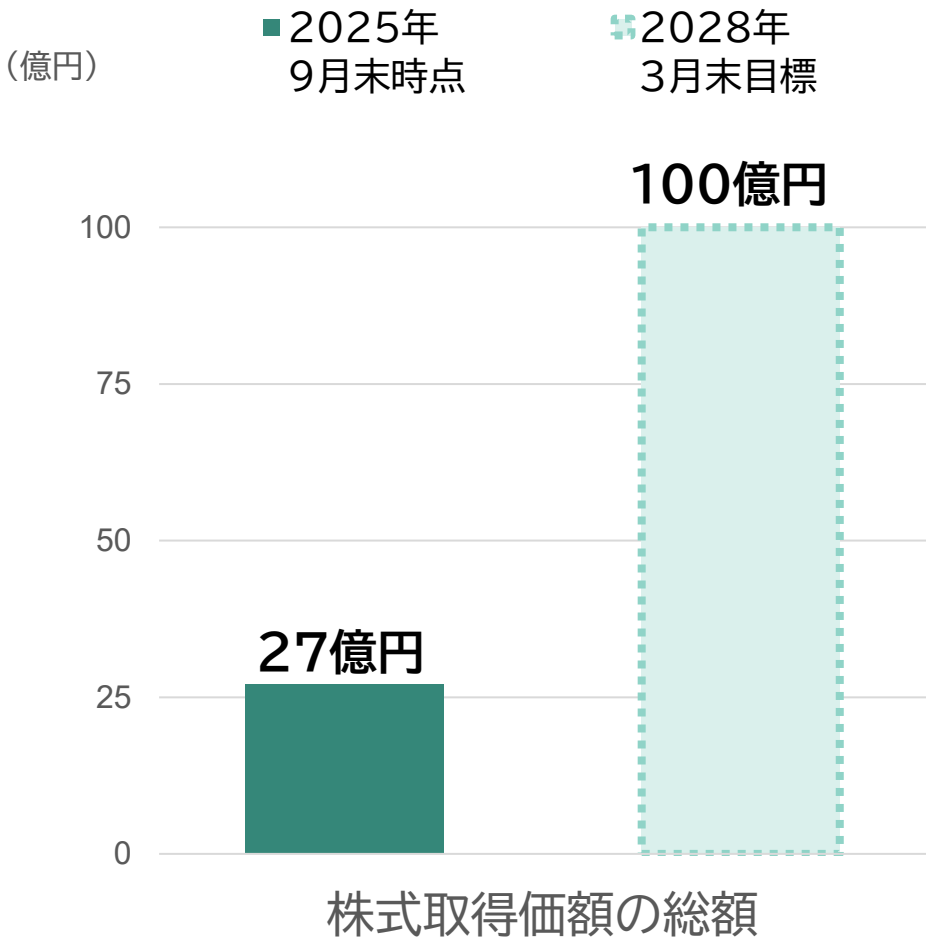


(18/3 月期以前の配当については、分割後の金額を遡及して記載)

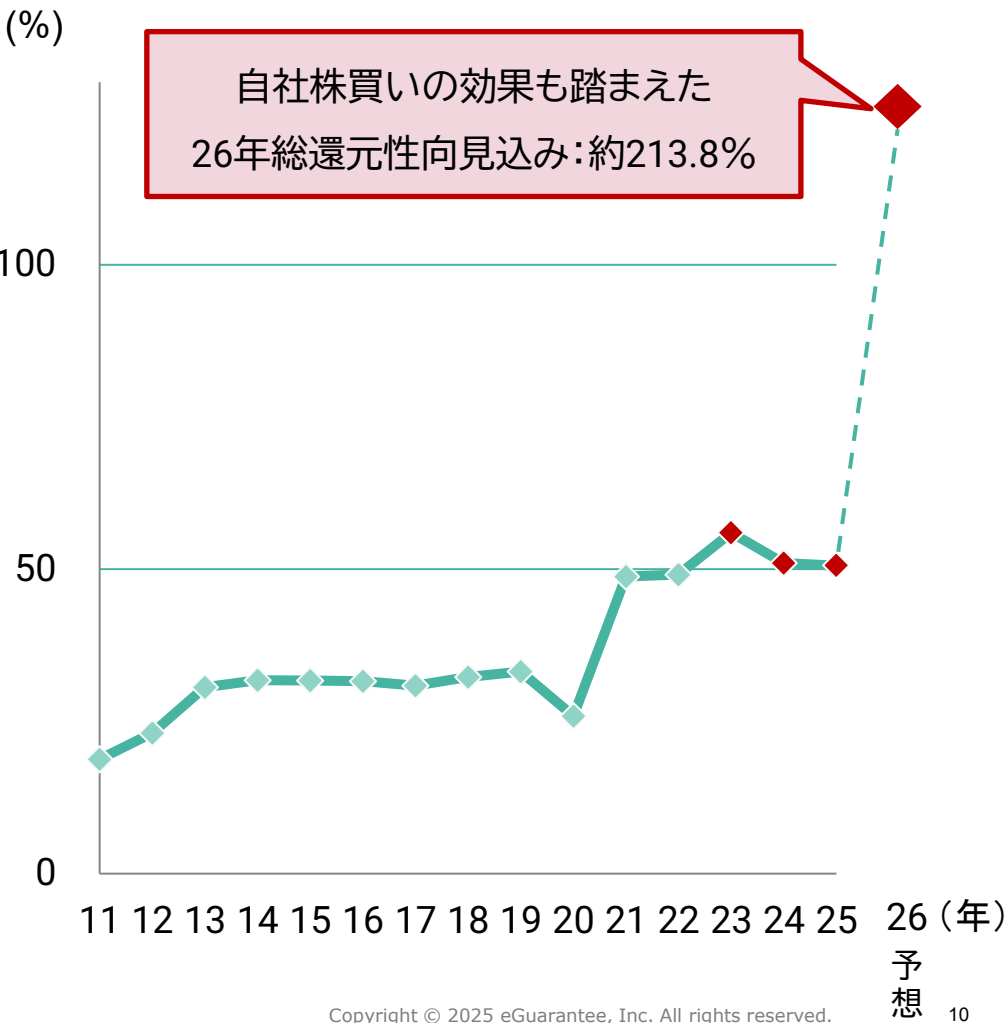
予想

株主還元施策の実施状況(2025年9月時点)2/2

自己株式取得状況



総還元性向の推移

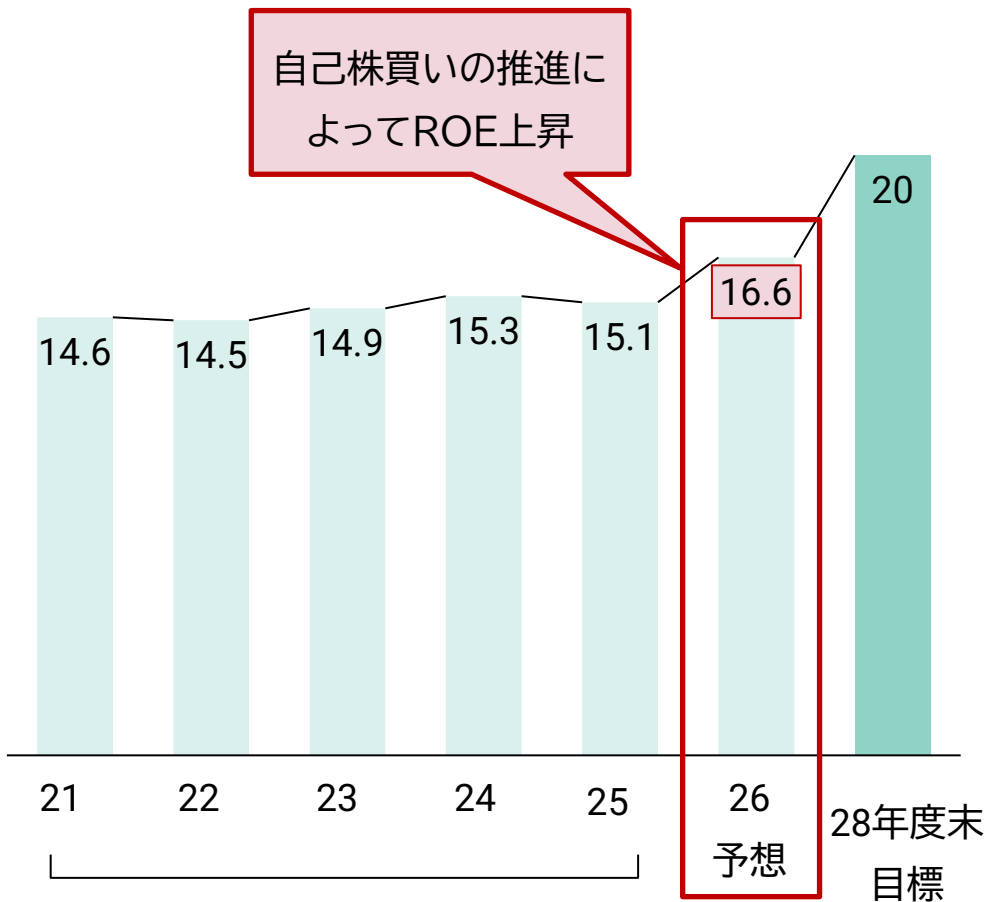


財務指標

自己株式取得の効果で、ROE、ROICの上昇を見込んでおります。

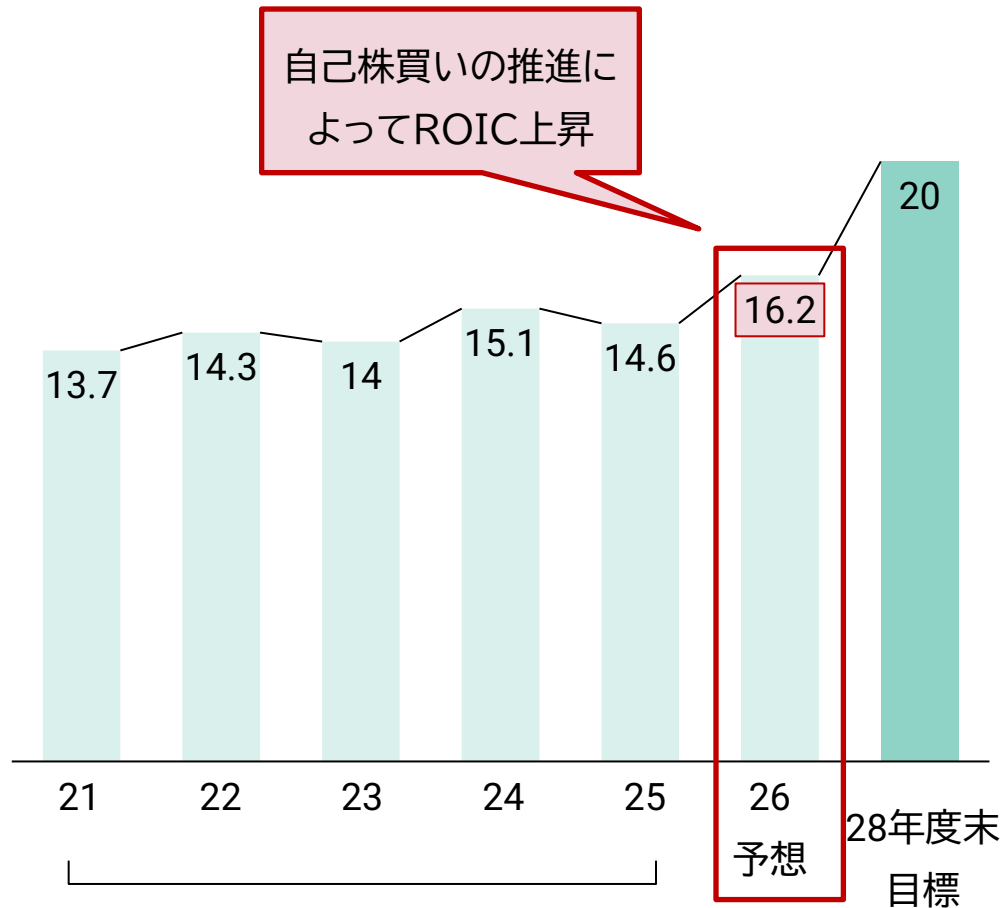
ROICとROEは中期経営計画記載のとおり、2028年3月期までに20%を達成する見込みです。

ROEの推移(%)



年度末

ROICの推移(%)

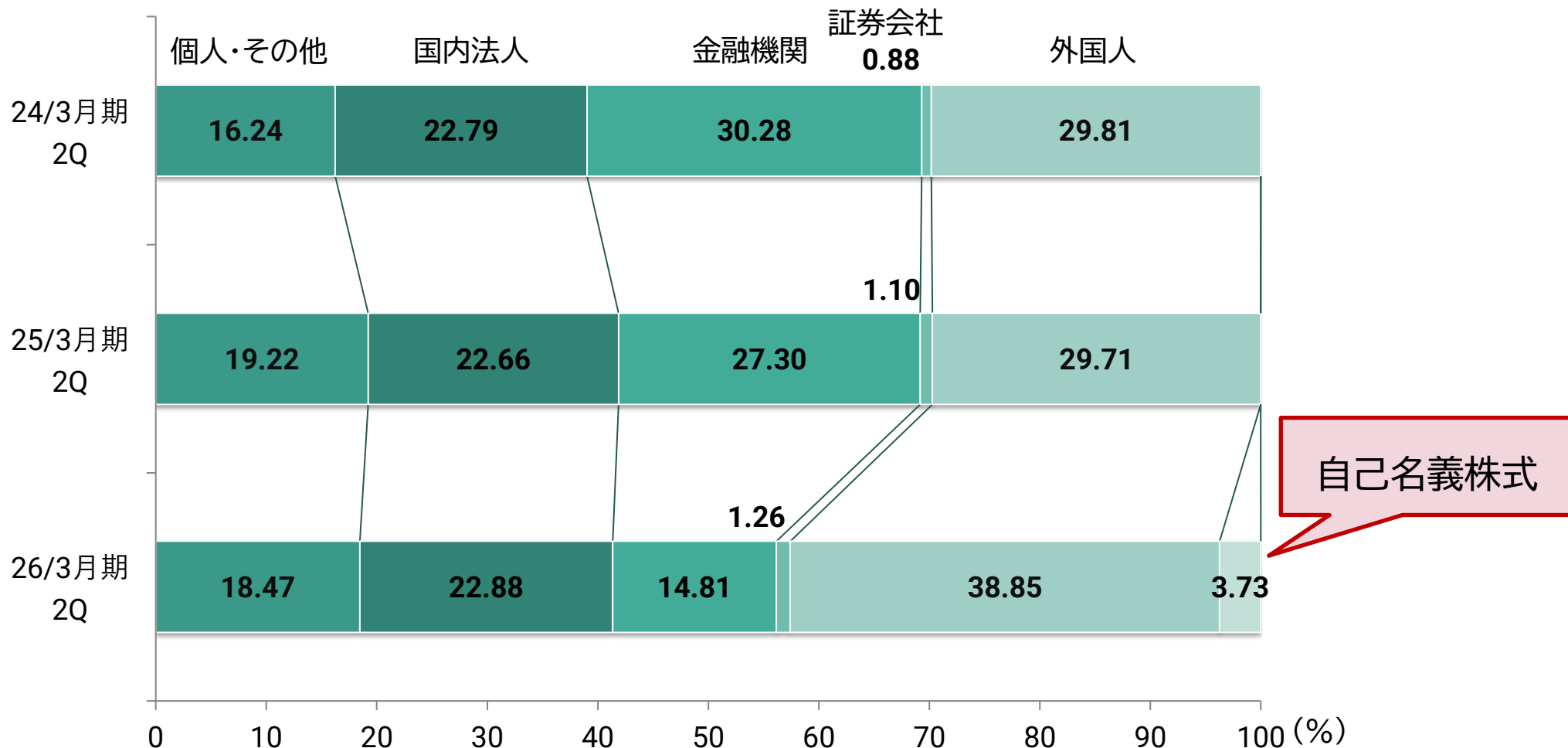


年度末

株主別分布状況

株主分布状況は、前年同期から一定の変動がありました。

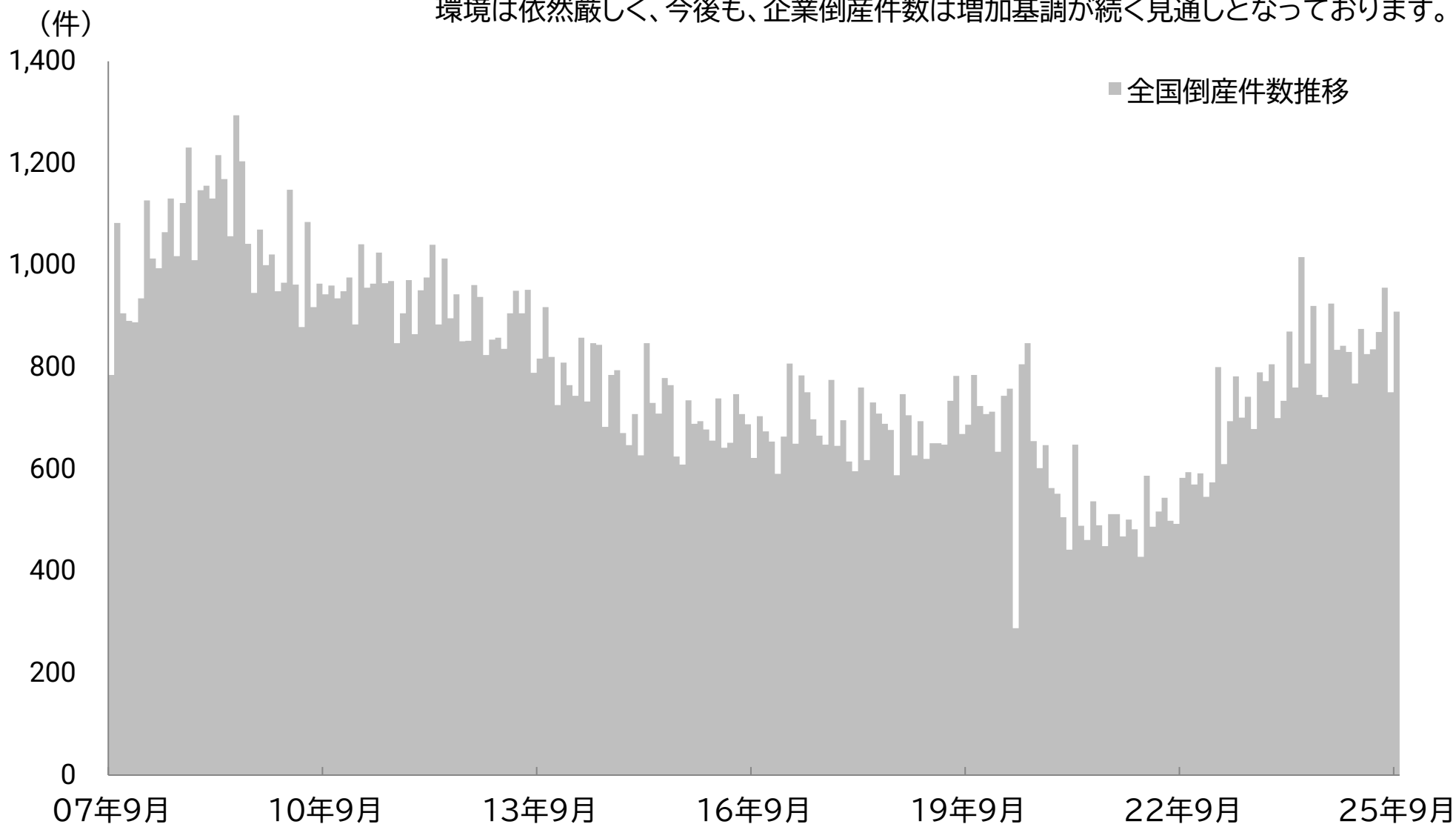
金融機関の持株割合が12.49%低下する一方で、外国法人等の割合が9.14%上昇しています。



※ 百分率:小数点第3位以下を四捨五入し切り上げ

全国倒産件数推移

当中間連結会計期間における企業倒産件数は前年同期比3.1%増加の5,146件(帝国データバンク調べ)となり、半期ベースでみると2021年下半期以降8半期連続の増加となっており(2000年度以降最長)、上半期としては2013年度以来12年ぶりに5,000件を上回りました。物価高倒産、人手不足倒産は過去最多となるなど、中小企業を取り巻く経営環境は依然厳しく、今後も、企業倒産件数は増加基調が続く見通しとなっております。

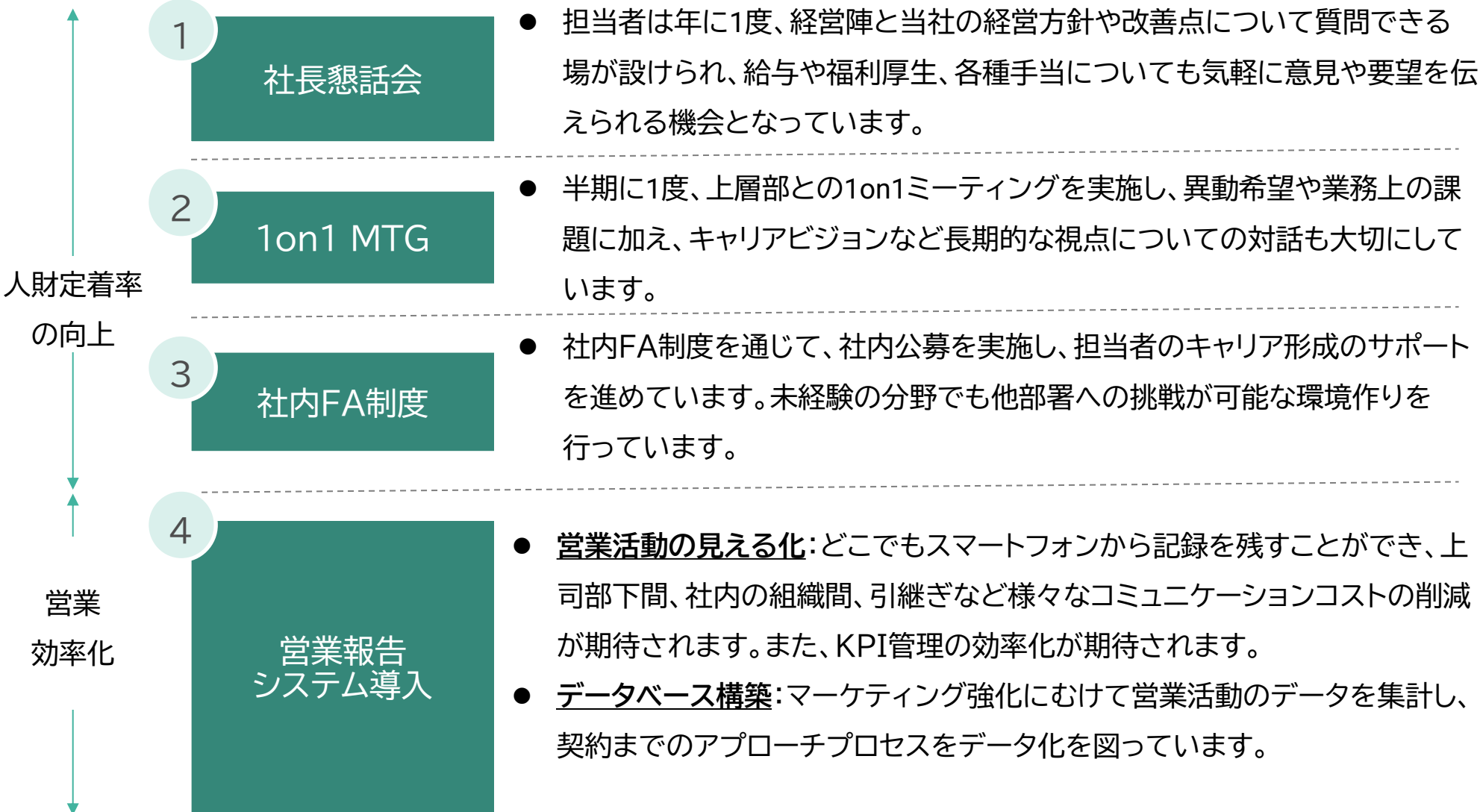


直近の取り組み

5つの施策の実施によって、人材定着率の向上及び営業効率化を実現

2Q実施施策

詳細





参考資料 1

- ・中期経営計画「Accelerate 2028」（再掲）

Accelerate 2028

データベース整備を求める安定成長から
リスク引受能力向上と資源投入により加速度的成長へシフト

2028年3月期 目標（連結）

売上高

200 億円

ROE

20 %以上

配当性向

50 %以上

経常利益

100 億円

ROIC

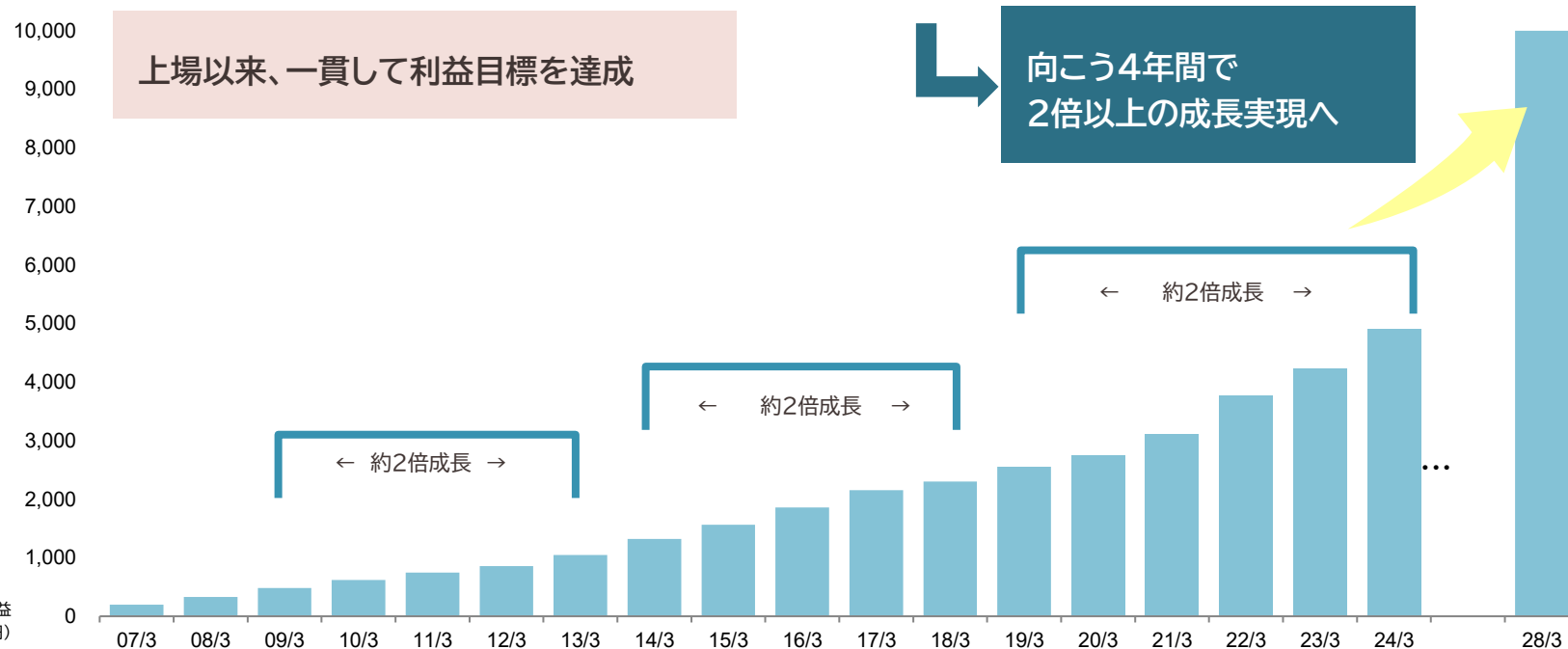
20 %以上

DOE

継続的な向上

目標値および実績値の推移

過去5,6年単位で約2倍成長を実現

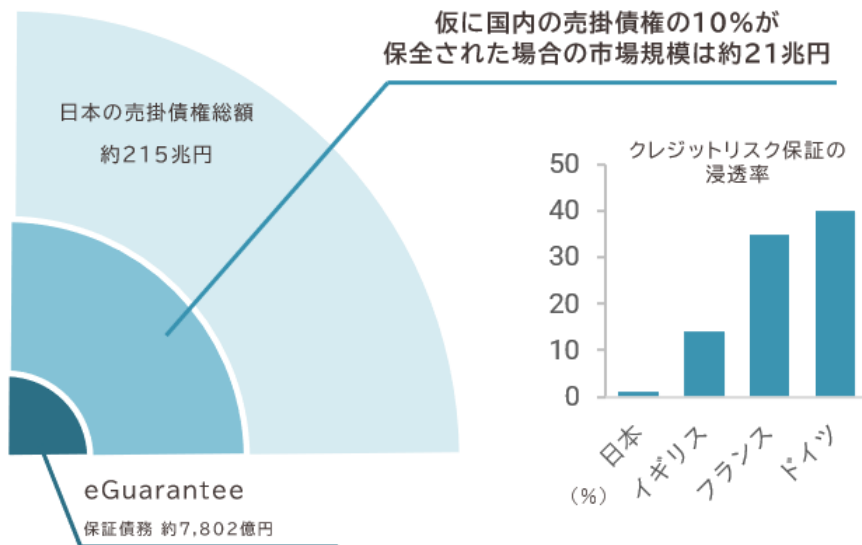


経常利益 目標値	172	300	440	610	710	840	1,000	1,300	1,550	1,850	2,150	2,300	2,550	2,750	3,000	3,750	4,200	4,900	10,000
経常利益 実績値	196	331	482	619	744	854	1,048	1,319	1,562	1,857	2,152	2,302	2,552	2,751	3,108	3,760	4,231	4,902	-
目標達成率	114.0%	110.3%	109.5%	101.5%	104.8%	101.7%	104.8%	101.5%	100.8%	100.4%	100.1%	100.1%	100.1%	100.0%	103.6%	100.3%	100.7%	100.0%	-

日本・アジアのマーケットはブルーオーシャン

国内市場の成長可能性

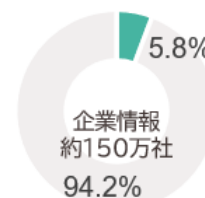
日本の売掛債権で何らかの保証・保険の対象となっている金額は、概算で国内の売掛債権総額の約1.3%程度です。一方で欧州でのクレジットリスク保証の浸透率は高く、英国では12～14%、フランスでは30～35%、ドイツでは40%以上となっています。仮に国内の売掛債権(約215兆円)の10%が保全された場合の市場規模は約21兆円となり、拡大余地の大きいブルーオーシャンのマーケットになっています。



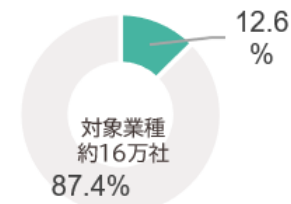
現状人員不足でアプローチできていない

- 過去10年間に当社と接触歴のある企業は、調査会社の企業情報約150万社のうちで5.8%。
- 業種別でも、売掛債権が発生しやすい卸売業で12.6%と未接触企業は多く存在します。

過去10年間に
当社と接触歴のある企業割合



卸売業に絞った場合の
過去10年の接触歴のある企業割合



■ 接触歴あり ■ 接触歴なし ■ 接触歴あり ■ 接触歴なし

※欧米での浸透率: <https://www.insurancebusinessmag.com/uk> 2022年9月を参照。

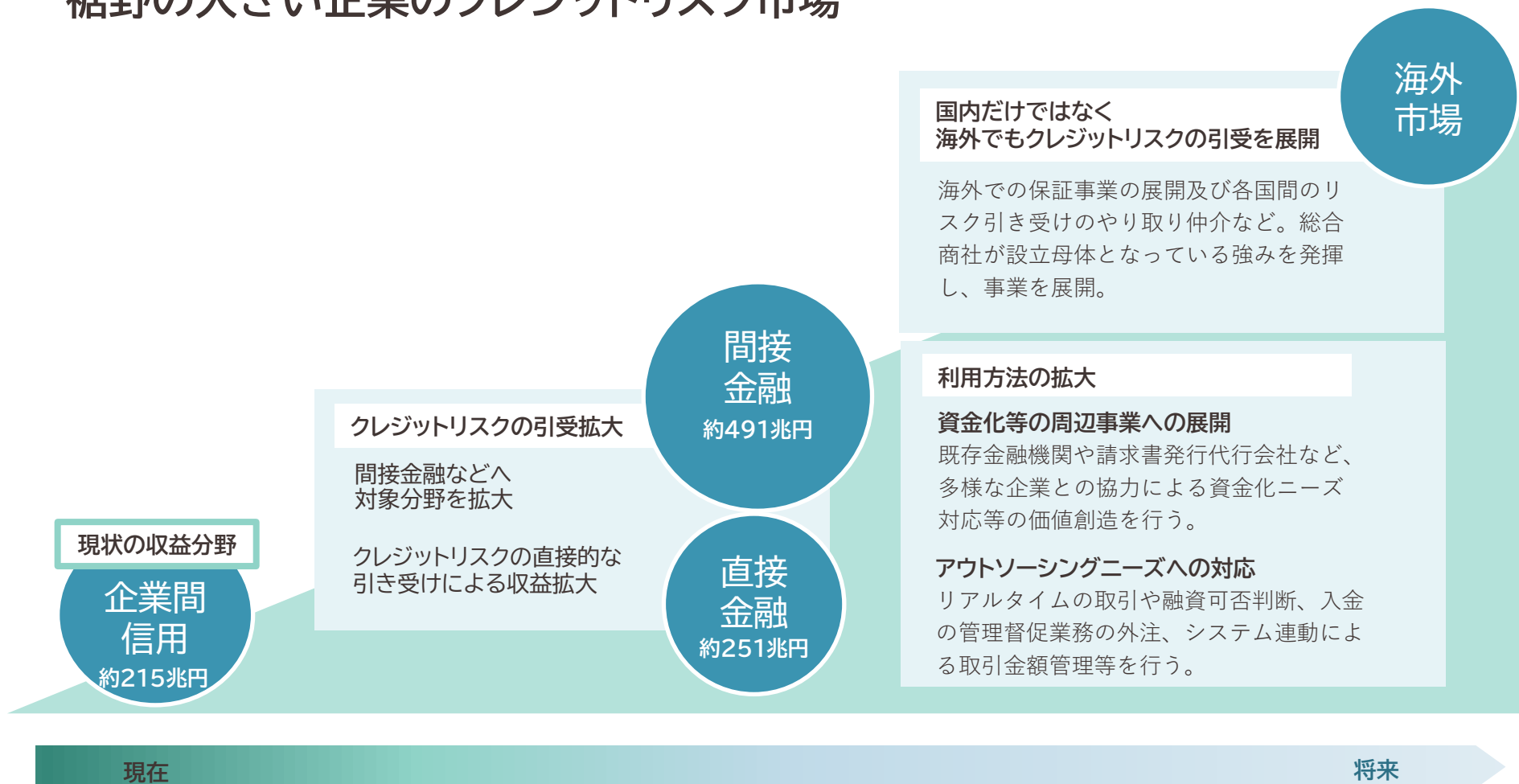
※日本の売掛金総額: 資金循環統計(2022年度・日本銀行)の企業間・貿易信用/民間非金融法人企業の金融負債残高を参照。

※何らかの保証・保険の対象となっている売掛金の金額: 2023/1/17(株)日本経済新聞社の掲載内容より試算。

※企業情報及び業種: (株)帝国データバンクCOSMOSを参照。

※接触歴の有無: 当社内データベースを参照。

裾野の大きい企業のクレジットリスク市場



※企業間信用、直接金融、間接金融の金額：資金循環統計（2022年度・日本銀行）より

Accelerate 2028

データベース整備を求める安定成長から
リスク引受能力向上と資源投入により加速度的成長へシフト

ビジョンを軸にした経営

ビッグデータ活用と流動化で「保証」を従来金融と異なる新たな金融事業分野へ

積極的リスク引受

充実した当社独自の企業データベースと流動化を前提とした積極的リスク引受

営業資源拡大

営業資源の投入増加とデジタル化の推進による効率的な売上増加

マーケティング強化

新チャネルと新商品の投入及びマーケティング強化による顧客母集団拡大

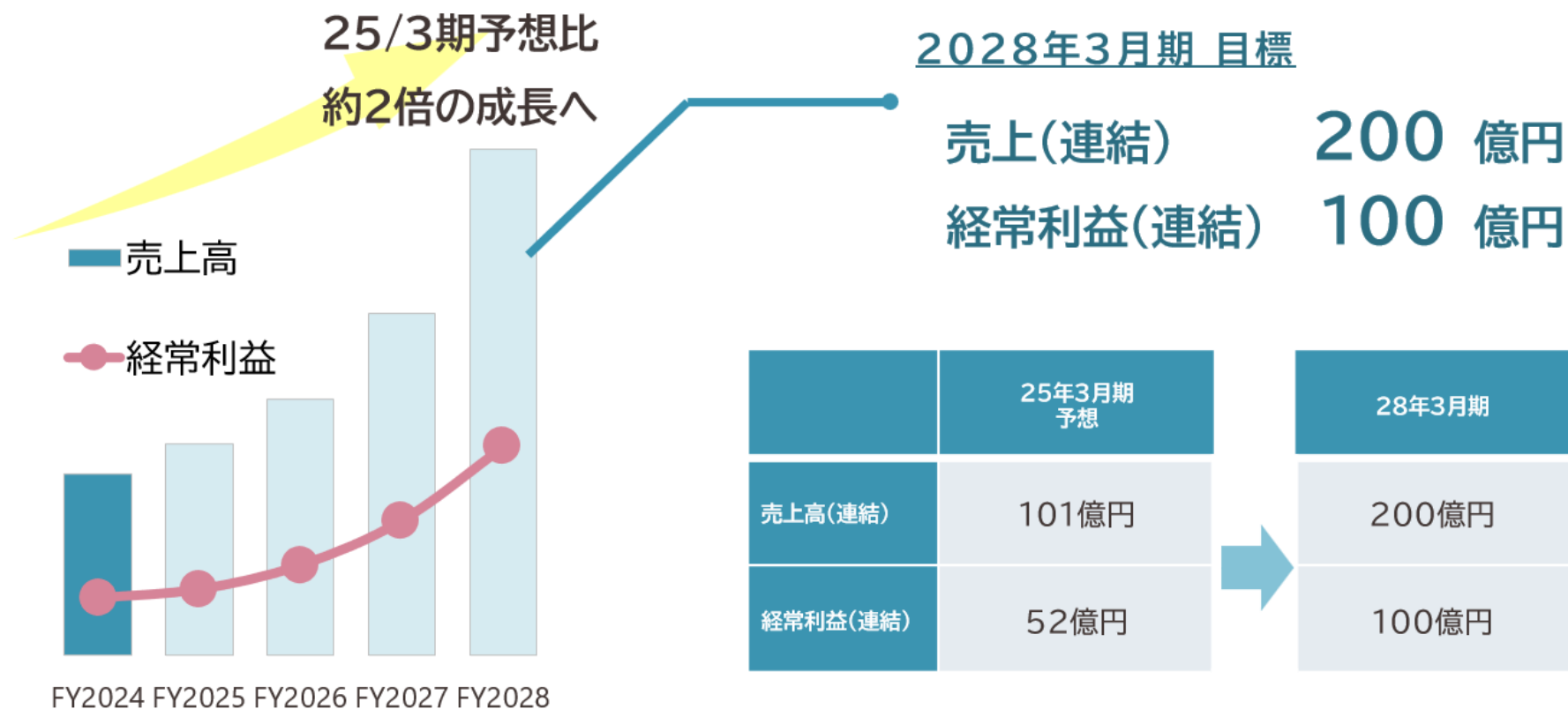
継続率・増額率引き上げ

既存顧客へのサービス充実等による継続率と保証増額率の一層の引き上げ

商品価値の向上

周辺ビジネスを実施する企業との連携強化に伴う、顧客にとっての商品価値の向上

中期経営計画における経営目標(売上高・経常利益)





参考資料 2

・重点施策（再掲）

2026年3月期の重点施策

業務効率化を前提とした人的投資の継続的拡大と、人的投資から収益転嫁させる初年度として、営業推進支援・教育研修に努め早期戦力化を図り、下期から契約数の加速度的な増加とマーケティングの強化を目指す。

業務効率化を前提とした人的投資の継続的拡大

人的投資の継続的实施と、収益化に向けた教育研修の強化を実施。同時に採用活動の効率化も推進。

契約数の加速度的な増加に対する体制強化

契約数の加速度的な増加に対応するための、営業業務支援の強化、ITを活用した営業体制整備、顧客向け提案におけるシステム支援の実施。

積極的リスク引受のためのバックオフィス強化

積極的リスク引受と契約数拡大を支えるバックオフィス業務体制の整備。

支払遅延などの情報収集力の拡充と審査ロジックの整備、及び保証料率のリスクに応じた引上げとバックオフィス業務のさらなるシステム化を推進。

マーケティングの強化

既存契約の継続率向上と新規契約獲得に向けたマーケティング強化。

企業が抱えるリスク管理周辺業務について、顧客業務の削減やアウトソーシング志向にこたえた課題解決のサービス提供。

不払対応の商品の導入推進、簡易的に導入できる商品投入、及び信用金庫など新たな販売経路の拡大を実施。

金融債権保証、海外事業など周辺事業への布石。



参考資料 3

・イー・ギャランティ株式会社について

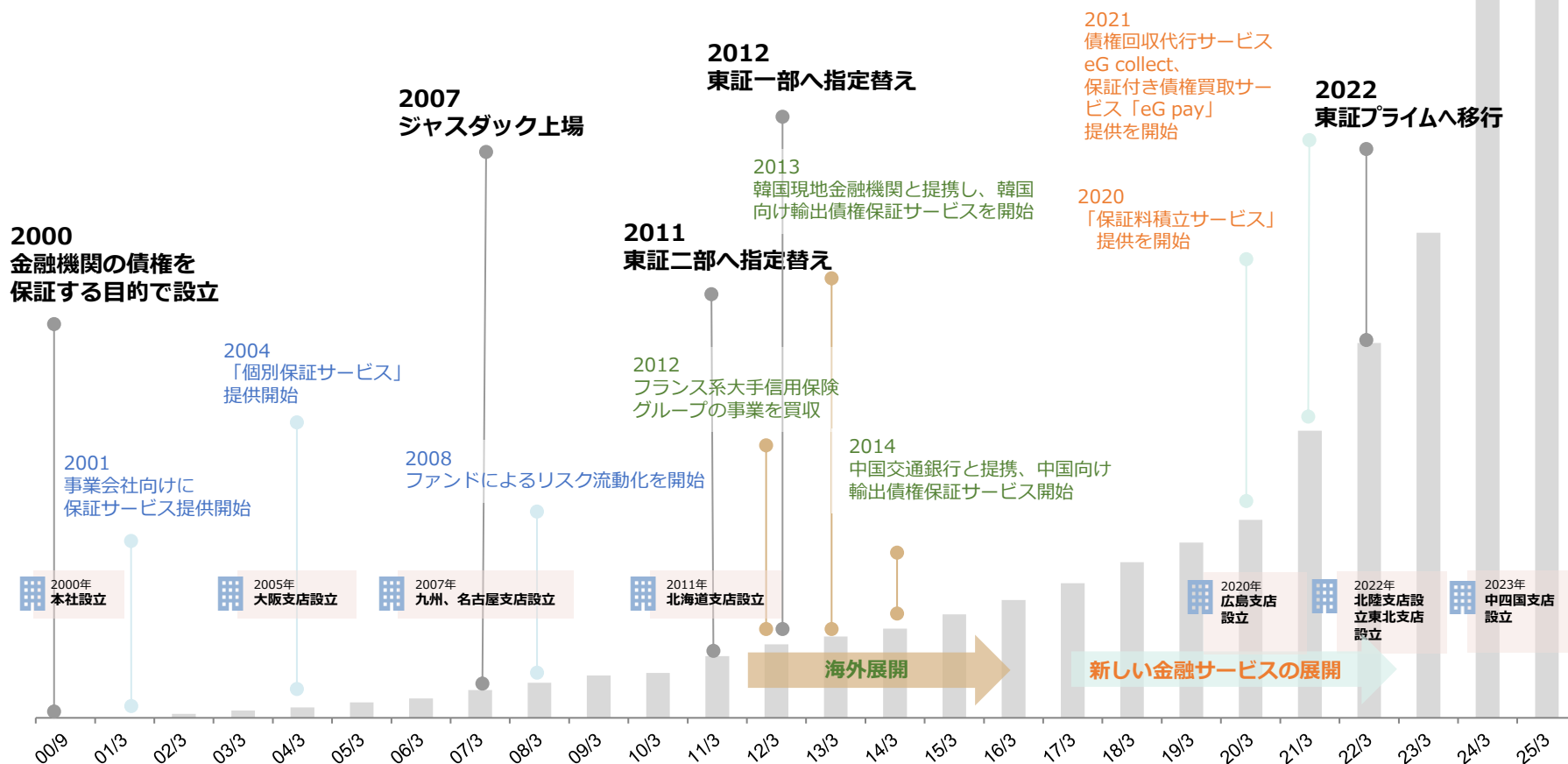
イー・ギャランティの成り立ち

金融機関のリスクを保証するために伊藤忠商事の子会社として設立。
国内最大の保証会社として、保証サービスやフィンテックサービスを提供。

イー・ギャランティは、金融機関のリスクを保証するために2000年に設立されました。後に一般の事業会社にも保証サービスを展開し、近年では決済サービスや給与前払いサービス等、フィンテックサービスも提供しています。

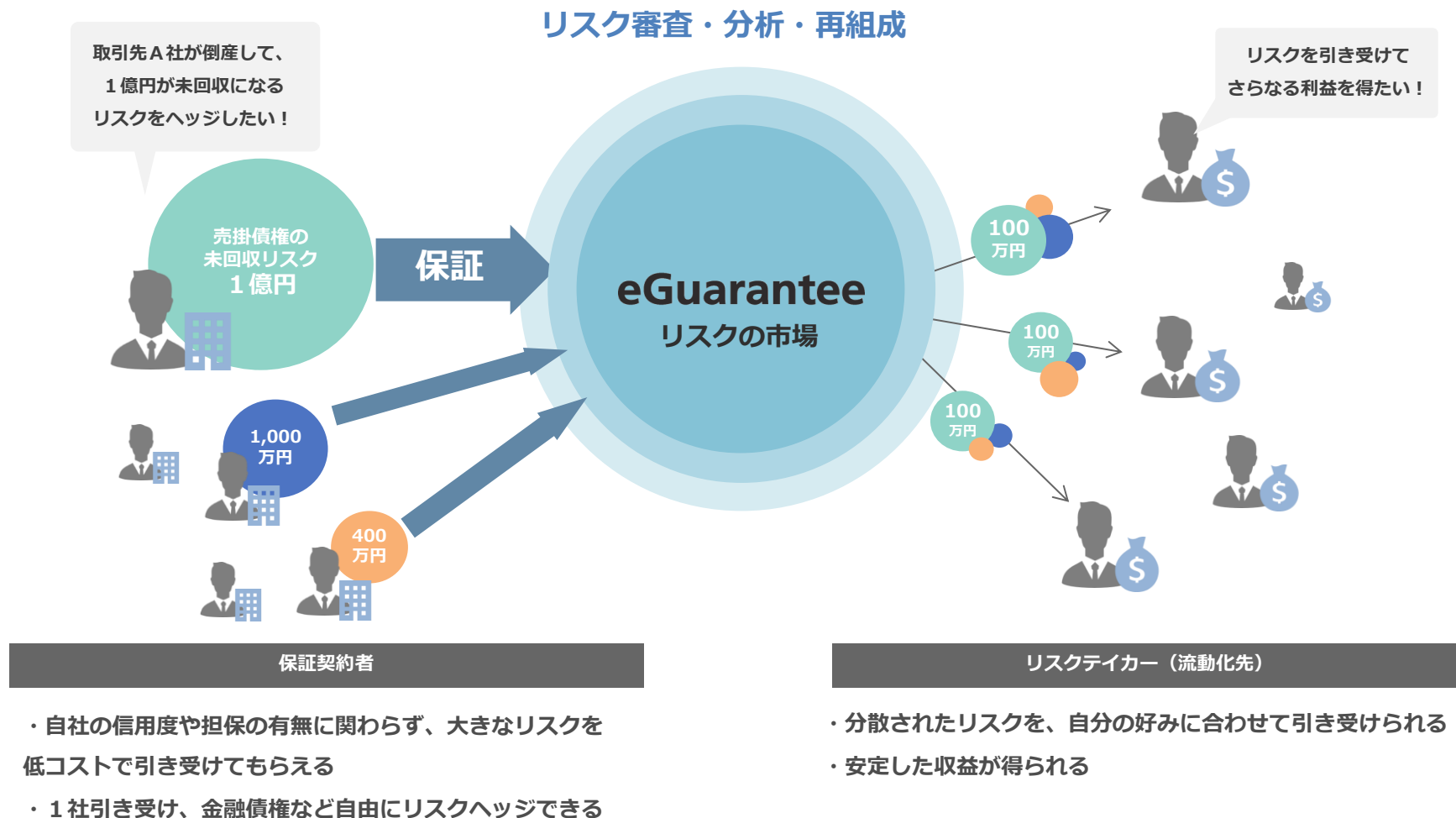
保証残高
1兆8,852億円

ー 保証残高の推移とイー・ギャランティの歴史 ー



リスクを引き受けて流動化する「リスクの市場」。

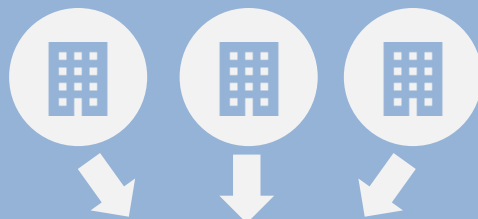
企業が抱えるリスクをイー・ギャランティが「保証」というかたちで引き受け、このリスクを細かく分けて、リスクテイカーに流動化しています。今までは引受先がなかった高額なリスクが、イー・ギャランティという市場で値付けがされることで、多くのリスクテイカーが“引き受けたいリスク”に変わります。



集客

Customer

多くのリスクを引き受けてくれる市場に行きたい



eGuarantee

国内最大のリスクの市場



Risktaker

多くのリスクが集まる市場に行きたい

国内最大のリスクの市場（保証残高1兆8,852億円）だからこそリスクを引き受けてほしい企業、リスクを引き受けた機関投資家等がたくさん集まります。

値付け

詳細は次ページ



1社1社の倒産確率の算出



5.21% 0.34% 1.89%

リスクを引き受ける中で集まる独自のビッグデータを使って1社1社の倒産確率を算出。この倒産確率に基づいて、リスクを引き受ける金額が決まっています。

分配

Customer



1,000万円



eGuarantee

高額のリスクを分配



Risktaker

リスクはイー・ギャランティ1社で引き受けるのではなく、リスクを小分けにして、20社以上あるリスクテイカーへ分配しています。

リスクを引き受ける過程で集まる情報。ペイメント情報を中心とした独自のビッグデータを活用して、企業**1社1社**の倒産確率を算出。



一定期間における保証申し込みの集中、入金の流れ、電気代・ガス代の支払い状況、個人資産の異動状況、経営者の過去の経営履歴、代表者の変更、各金融機関のリスクの引受姿勢、住宅ローンの返済状況、リース料の支払い状況、売上の減少、取引額の増加、口コミサイトでの評価、HP更新状況

etc.

全国の企業に最新の金融サービスを届けるために、地域金融機関や有力企業と販売ネットワークを築いています。

地方銀行							
※都道府県順（同一都道府県の場合銀行コード順）							
信用金庫・信用組合							
※五十音順							
その他銀行				保険代理店			
※五十音順				※五十音順			
				● 商社系			
				● 銀行・メーカー系			
証券会社							
※五十音順							
リース会社							
※五十音順							

サービス一覧

事業法人向け

eG保証サービス

企業間取引において生じる各種債権の未回収リスクを保証するサービス。億単位の高額なリスクを低価格で引き受けられることと、オーダーメイドな商品設計が特徴。



契約期間1か月～、保証対象先1社～保証がかけられるサービス。1社あたり数百万円程度のリスクを回避したいお客様向け。



WEBですべての手続きが完結。月額8,800円～始められるサブスクリプション型の保証サービス。



決済業務が軽減され、販売代金が確実に入金されるようになるDX型決済サービス。オプションの付帯により、債権の早期資金化も可能。



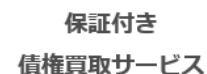
当社グループが仕入れ代金を立替払いすることにより、後払いができるようになるBNPLサービス。



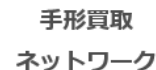
協会社がスマホアプリで申請するだけで、入金日前に業務委託料を受け取れる、協会社向けサポートサービス。



従業員がスマホアプリで申請するだけで、給与日前に給与を受け取れる、従業員向けサポートサービス。



保証がかかっている債権を、当社グループが低価格で買い取るサービス。



当社の提携金融機関が手形を買い取るサービス。

金融機関向け

売上債権保証の再保証サービス

ファクタリングや保証ビジネスを営む金融機関の信用リスクをヘッジするサービス

リース債権保証サービス

リース債権の信用リスクをヘッジするサービス

融資債権保証サービス

金融機関が企業に融資した際に発生する融資債権の信用リスクをヘッジするサービス

債権流動化保証サービス

金融機関が組成した債権流動化スキームの保証を行うことで、信用リスクをヘッジするサービス

売掛債権担保融資保証サービス

売掛債権担保融資を受ける企業と当社の間で、売掛債権保証契約をすることで、売掛債権の毀損リスクを低減し、担保評価を高めるサービス

立替払債権保証サービス

カード会社や信販会社などが保有する立替払い債権における信用リスクをヘッジするサービス

企業投資に関連する保証サービス

売掛債権の資産査定をすることで、投資会社に対して投資検討をサポートするサービス

DIPファイナンス関連サービス

売掛債権担保による資金調達のサポートなどを提供するサービス

保証サービスの仕組み

eGuarantee

保証希望先リストの提出

審査結果（見積）の提示

保証契約締結（1年更新）

顧客

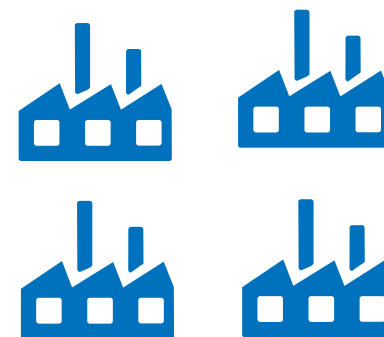


顧客

販売

当社がお支払い

倒産等により
代金未払い



保証対象先
（海外の企業も可）

eGuarantee

こんなところにも、イー・ギャランティ

リスクを気にして取引できない。信用度が低いから取引してもらえない。そんな課題がイー・ギャランティのサービスによって解決されることで、世の中の多くのサービスが生まれています。意外と身近なサービスの裏にも、イー・ギャランティ。



今朝食べたおにぎりの裏にも！

農家も農協を通さずにお米を売る時代。全国のスーパーや卸売業者に売れるのは、イー・ギャランティの保証があるから。



リゾートホテルのサービスの裏にも！

ホテルにリネンや食材等を安定に提供。その裏にも、やはり保証。



街に灯る明かりの裏にも！

電力の小売全面自由化により、参入が加速した新電力。従来と異なる分野に踏み切れるのも、保証があるから。



自然エネルギーの裏にも！

大きな設備投資が先行して、長期的に利益を回収する太陽光パネル。全国に設置できるのは、保証があるから。



最新のアプリの裏にも！

最新のシステムや新しいアイデアに強みをもつフィンテックベンチャーも、保証があるから出資を受けられています。

32



海外へ商品を輸出！その裏にも！

海外進出するときに、国内と同じ与信管理の方法はとれません。海の向こうに商品を届けられるのも、保証があるから。



命を救う医療機器の裏にも！

流行するウイルスの種類も変わり、急に最新の機材が必要になることも多い医療現場。ここでも保証が使われています。



働く環境の裏にも！

人材派遣会社が安定的に各職場へ人材を派遣できるのも、保証があるから。



憧れのマイホームの裏にも！

マイホームに使われている木材が提供されるのも、下請け業者が工事を引き受けているのも、保証があるから。



大切な従業員に向けた福利厚生の裏にも！

月に1度支給される給与をいつでも従業員が引き出せる給与前払いサービス。企業間取引にもこの仕組みを使えます。



あの企業の上場の裏にも！

上場に向けて準備してきたのに、直前で大きな貸し倒れ。そんなことにならないように、上場準備の裏にも保証。



保証サービスを提供する企業の裏にも！

新たに保証事業に参入したいけど信用度の判断ができない。そんな企業の裏で、イー・ギャランティがリスクを引受。



全国に商品を届ける物流の裏にも！

高速道路にあるETCも、保証。高速を使って全国各地に便利な商品がすぐに届くのも、保証があるから。



建機のリースの裏にも！

リース会社の基準では通常サービス提供できない中小企業にも、保証をかけることによってリースが実現。



美容サロン拡大の裏にも！

設立間もないベンチャー企業が、インターネットや看板に大きな広告を出せるのは、保証があるから。



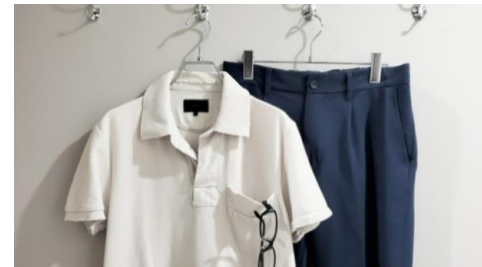
大好きな日本酒の裏にも！

与信管理に時間をかけず、酒造りに集中。おいしい日本酒を全国に届けられるのも、保証があるから。



通販の後払い決済の裏にも！

企業がネットで商品を購入する際に後払いという選択ができるのも、イー・ギャランティの後払いサービスがあるから。



お気に入りの洋服の裏にも！

流行がすぐに入れ替わる洋服や靴などのアパレル商品も、保証のおかげで安心して取引。



参考資料 4

- ・サステナビリティに関する取り組み

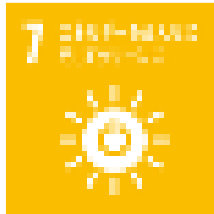
イー・ギャランティのサステナビリティ基本方針



イー・ギャランティ株式会社は、各産業への信用供与と適切な社会資源の配分を実現することで、活力ある豊かな社会づくりを目指し、信用リスクの受託と流動化事業に経営資源を集中してまいりました。

リスクのマーケットメーカーとして信用リスクの受託と流動化の事業活動を継続することが社会課題の解決につながると考え、事業を通じて再生可能エネルギー事業やソーシャルビジネス等に対し適切な社会資源を配分することで、「サステナビリティ」についての取り組みを推進してまいります。

-環境に関する取り組み-



再生可能エネルギー事業の推進

当社は、太陽光やバイオマス、風力などの再生可能エネルギーにかかわる商取引を保証することにより、環境問題の解決を間接的に推進しています。

例えば、太陽光パネルの設置工事を行う企業が太陽光パネルをメーカーから購入するときに、メーカーの信用リスクを自社で抱えることができず、購入を控えるケースがあります。その際に、当社がメーカーの信用リスクを受託することにより、設置工事を行う企業が太陽光パネルを仕入れやすくなることで、太陽光発電事業の推進に繋がっています。



海洋資源の持続的な利用への貢献

当社は、水産養殖にかかわる商取引を保証することにより、海洋資源の持続的な利用に貢献しています。

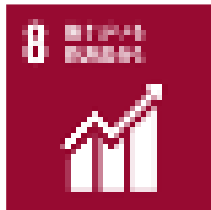
例えば、飼料を販売する企業が、養殖事業者に飼料を販売するときに、養殖事業者の信用リスクを判断できず、飼料が販売できないケースがあります。その際に、当社が養殖事業者の信用リスクを受託することにより、養殖事業者が飼料を購入できるようになることで、水産養殖の拡大に貢献しています。



気候変動に関する対応

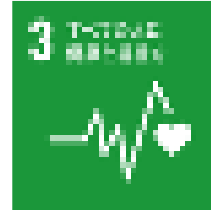
当社の2023年度のGHG排出量は、113t（電力消費による間接排出）となっております。また、当社では、Scope2のGHG排出量について、2030年度に実質ゼロの目標を設定しました。GHG排出量の削減にあたっては、社内の省エネ、節電を心掛けるとともに、化石燃料を用いない再生可能エネルギー等を活用した脱炭素社会の実現を目指していきます。

- 社会に関する取組 -



ベンチャー企業等のサポート

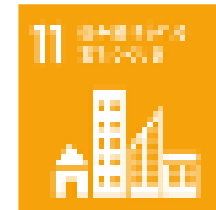
保証というサービスを通じてベンチャー企業に対し大企業と同水準の審査力やリスク許容力を提供したり、ベンチャー企業や個人事業主を保証し信用を供与したりすることにより、ベンチャー企業や個人事業主が他の企業との取引を円滑に行いやすくし、ベンチャー企業のさらなる成長や個人事業主の持続可能な事業活動をサポートしています。



健康と福祉の推進

当社は、病院や社会福祉法人との商取引を保証することにより、介護・高齢者福祉等の社会問題の解決を推進しています。

社会福祉事業は、各地域の中小企業が中心となって取り組んでいます。例えば介護ビジネスの場合、原価が高く利益率が低い一方で、参入が容易であるため、大企業が取り組みにくいビジネスとなり、結果として中小企業がビジネスの中心となっています。介護ビジネスを担う中小企業にとっては、建物の購入やその内装工事などのインシヤルコスト、介護現場の人件費などのランニングコストにより資金繰りが逼迫しています。そのため、当社が中小企業の信用リスクを受託し、中小企業が仕入れる備品などの支払のユーザンスを長くすることで、介護ビジネスを担う中小企業の手助けをしています。



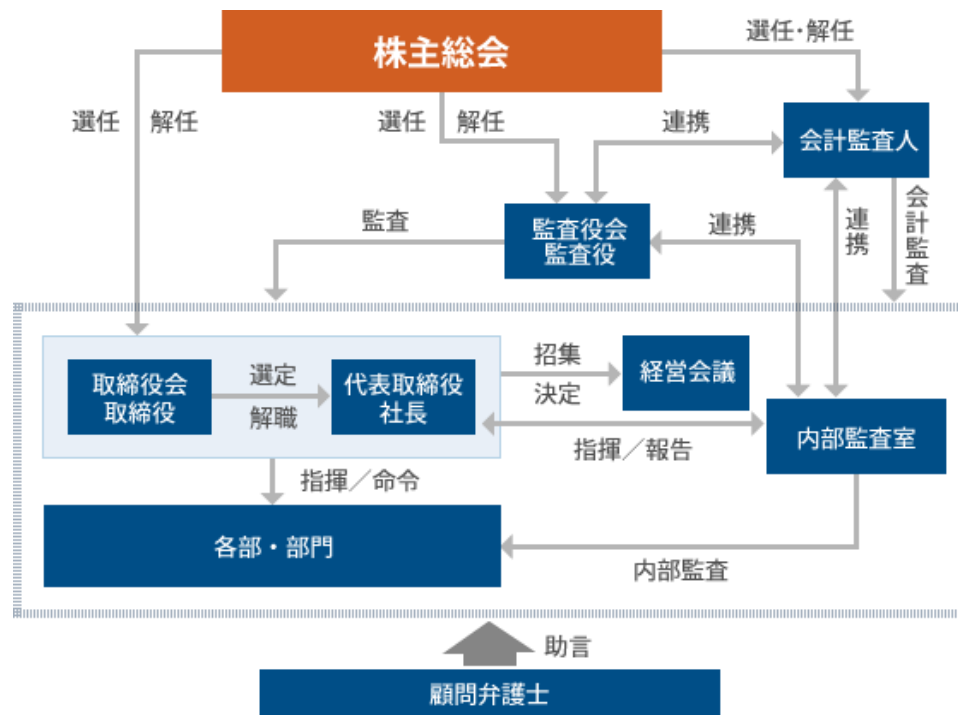
地方創生への貢献

各地域の企業と都市圏や県外の企業との取引が増加しています。その背景には、従来、商社のような大企業が取引の間に入り、都市圏や県外の企業と売買していた商流から、近年のWEBの普及などにより、都市圏や県外の企業と直接接点を持つことができるようになったことで、直接売買を行うよう変化してきたことが考えられます。しかしながら、各地域の企業では、県外の取引先の信用リスクを調べることができず、未回収となった債権を回収するコストも大きな負担となってしまいます。

当社は、そのような信用リスクを保証という形で受託することにより、回収コストを引き下げるとともに、各地域の企業の商取引の選択肢を広げ、地域社会の発展に貢献しています。

- ガバナンス -

概要図(2025年3月31日現在)



コーポレート・ガバナンス体制早見表(2025年6月27日現在)

組織形態	監査役会設置会社
取締役の人数(内、社外取締役の人数)	9名(4名)
監査役的人数(内、社外監査役の人数)	3名(3名)
取締役の任期	1年
社外取締役のうち独立役員に指定されている人数	4名
指名委員会又は報酬委員会に相当する任意の委員会の有無	なし(*)

*当社の取締役会は8名中4名が独立社外取締役で構成されており、また独立社外役員が取締役会の過半数に達しておりますので、独立社外取締役を主要な構成員とする任意の委員会を設置することはいたしていません。

サステナビリティへの取り組みの指標

分類	保証債務(億円)
環境問題の解決に関する保証(E)	242
社会問題の解決に関する保証(S)	251
地方創生に関わる保証(S)	3,005
ベンチャー企業等に関わる保証(S)	902
合計	4,400

※保証の対象となる個別の取引が、該当する分類にかかわる取引か否かを個別に確認しておらず、保証の対象となる商品・サービス名や保証の対象となる企業等に特定の文言を含む保証契約を集計した結果となります。

(2025年3月31日現在)

本資料に関するお問い合わせ先

イー・ギャランティ株式会社 IRチーム

irinfo@eguarantee.co.jp